

CNC自動旋盤は、長尺の棒材から連続して部品を削り出し、切り離す加工が可能であり、自動化・省人化など、高い生産性を実現できることから、幅広い分野で利用されています。

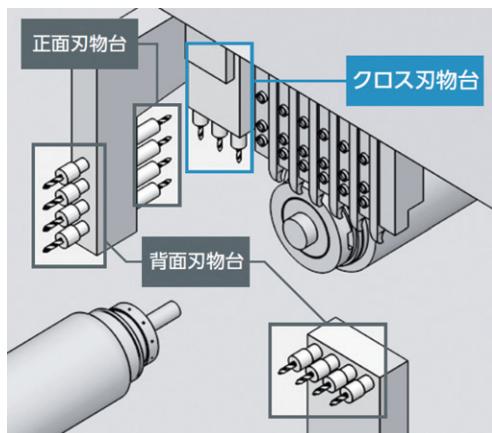
近年では、EV化に伴った電子部品をはじめとする精密部品の増加、他にも建設機械や油圧機器、医療機器分野などで精密部品加工の需要が増加しており、CNC自動旋盤の市場は全世界で拡大を続けています。

今般発売した自動旋盤用工具のLA<sup>\*1</sup>シリーズ「LAアクアREVO ドリル」と「LAアクアREVO ドリルスターティング<sup>\*2</sup>」は、突出し長さと全長を統一することで、工具選定時や段取りの手間を省くと共に、工具長の最適化により加工プログラムを簡素化し、ユーザーの生産性向上に貢献します。

\*1 LAとは、自動旋盤（Automatic Lathe）のこと

\*2 ドリルスターティングは、V溝加工や面取り加工も対応可能

### ■ CNC自動旋盤のくし形クロス刃物台での使い勝手を追求



- ・くし形刃物台に複数の工具を並べて取り付け
- ・工具の突出し長さを揃えての取り付けが基本

### 特長

#### ○LAシリーズで突出し長さが揃う

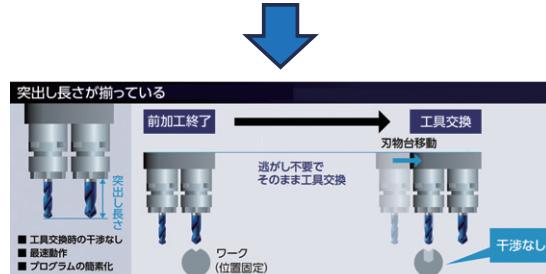
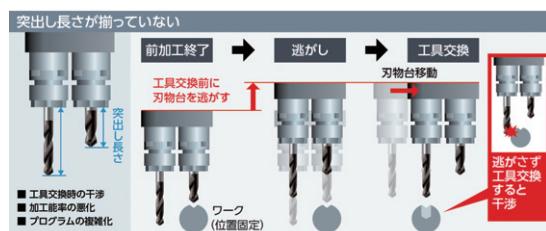


#### 一定の突出し長さと全長で簡単&しっかりと取付け



#### ○工具交換時の干渉を回避

LAシリーズは、工具の突出し長さを一定にすることで、工具交換時の逃がし動作が不要となり、サイクルタイムの削減が可能。



不二越ホームページにて、LAシリーズの  
ラインアップやカタログを掲載しています